

ひろしま自然保育認証制度 2018年度活動報告書

麦わらぼうしこどもえん

4月 入園遠足



麦わらぼうしこどもえんでは、入園式は行っていません。入園日は、家族みんなで保育フィールドに遠足に行き、いっぱい遊んでお弁当を食べて帰ります。

大人にとってはひとつの節目として入園式があった方がいいのかも？！（見栄えも良いですし）けれど、子どもにとっての入園式は初日の緊張を、より強いられることにはないでしょうか？そして、自分の意思ではなく、たまたまここに集ったというだけで、いきなり「みんな、ともだち！」なんていうのもなんだかシクシクきません。なるべく自然なかたちでのはじめの一歩にしたいという思いからです。

6月 潮干狩り



毎年初夏には、スタッフの車に乗り合いで「潮干狩り」と称して干潟の観察に出かけています。

子どもたちにとっては、ほぼ海水浴と同じ気分なのでまだ冷たい海の中に肩まで浸かってブルブル震えていたりもします。これもまた、季節を感じる良い体験だと微笑ましく見守っています。

8月 泥ん子運動会



二週間かけてのミーティングの中で子どもたちが、競技種目やルール、準備物など開催までの段取りを進めて行きます。スタッフはミーティングでの進行役を務めるのではなく、補助的な立場でいるように心がけています。

そのため、子どもたちの心が動かず中止になったり、時間をかけても、上手く話し合いがまとまらず中止になる行事も出てきます。

それでも、その後悔(失敗)が次への力となることを私たちは信じているので「やらない選択肢」も子どもたちに認めています。(昨年の『泥ん子運動』は中止に…。代わりに開園以来はじめての『麦わらぼうしオリンピック』が秋に開催できました)

今年の競技種目は、かけっこ・泥でお絵かき・カエル取り競争・綱引き・障害物競走でした。予行演習なしのぶっつけ本番！おみごと大成功でした！！

そして、汚れた身体は井戸水で洗い流し、お待ちかねの“ドラム缶風呂”へ。



10月 麦わらぼうし“秋まつり”



子どもたちそれぞれの生活の中で、“遊び込む姿”が各所で見受けられたので、お節介とは思いながらそれらをまとめる形で『秋祭り』の提案をしてみました。

そしてそこからは、子どもたちの独壇場！どうなるのか？なんて、先は全く予測できません…。だから、ワクワクするのです。とにかくお付き合いあるのみです。

一週間かけてのミーティングを経て、約二週間の準備期間。子どもたちは飽きずにやりぬきました。

当日は、保護者にお客様となってもらい、クッキー屋・型ぬき屋・金魚すくい・アイスクリーム屋の出店、ダンスや神楽の披露で盛り上がりました。こちらも、予行演習なしのぶっつけ本番！子どもたちに感服です。

